

## 第16回井上宇市記念賞井上宇市賞および同アジア国際賞

(目的) 空気調和設備および環境工学分野に関する開発、設計、施工、研究、教育に特に貢献のあった個人を表彰し、本分野の将来を引き続き担う人材を育成することを目的とする。加えて、アジア地域で活躍する技術者、研究者を表彰し、アジアにおける本分野のさらなる発展を図ることを目的とする。

### 1. 井上宇市記念賞井上宇市賞(2名)

#### 1) 野部 達夫(工学院大学建築学部・教授)

◆受賞業績: 空気調和設備に関する幅広い研究と社会実装及び人材育成

◆推薦理由: 野部達夫氏は、長年にわたり空気調和・衛生工学分野の研究・教育・社会実装に多大な貢献をされてきました。特に、建築設備・熱工学に基づく高効率エネルギー利用技術の体系化、都市エネルギーシステムの高度化、再生可能エネルギーの適用拡大からパーソナル空調に至る幅広い研究は、国内外の学術・実務の両面で高く評価されている。

また、実証研究や産学官連携を通じ、研究成果を社会へ効果的に還元してきた点も特筆すべき功績である。また、教育面におきましても、多数の優秀な研究者・技術者を育成し、次世代の空調・環境工学を担う人材基盤の形成に寄与してきた。さらに、学会活動・委員会活動でも学術の発展に尽力され、その影響は学界・産業界の諸分野に広く及んでおり、本賞の趣旨である「空気調和衛生工学分野の進歩と発展に顕著な業績を上げた者」にふさわしい優れた研究者であり、学術的貢献、社会的貢献、人材育成のいずれにおいても高く評価されるべき人物と考えられる。

よって、ここに井上宇市記念賞井上宇市賞を授与する。

#### 2) 平岡 雅哉(鹿島建設㈱ 建築設計本部 副本部長)

◆受賞業績: 空気調和・衛生設備設計における、技術開発、設計、性能検証の継続および理事、委員会活動を通じた当学会と社会への貢献

◆推薦理由: 平岡 雅哉氏は、1983年より現在まで鹿島建設株式会社に勤務し、各時代の社会課題解決を目的とした事務所建築を中心とするプロジェクトの空気調和・衛生設備設計における、技術開発、設計、性能検証に携わってきました。プロジェクトの多くは、技術賞・建築設備部門、技術賞・技術開発部門、技術振興賞などの受賞を果たし、理事、委員会活動を通じた本会と社会に対し高く寄与してきました。特に、ビル管理システム委員会などを中心に委員会活動に長年従事し、本会の運営や発展に大きく貢献してきた。

また、現在も超高層建築から半導体・データセンターまで、設備設計統括業務を通じて、脱炭素などの社会課題を背景に、益々重要度が高くなる空気調和・衛生工学の発展に大きく貢献する優れた人材と考えられる。

よって、ここに井上宇市記念賞井上宇市賞を授与する。

## 2. 井上宇市記念賞アジア国際賞

### 1) 金 泰延(延世大学・教授) Taeyeon Kim (Professor, Yonsei University)

◆受賞業績:AI ベースのスマートビルディングおよび室内空気質 (IAQ) 制御技術

◆推薦理由:金泰延(キン・タイエン、韓国・延世大学教授)氏は、東京大学にて博士号を取得後、30年余りにわたり空気調和・衛生工学会 (SHASE) および日本建築学会 (AIJ) の正会員として活動し、日韓両国の学術交流を牽引してきた架け橋的な人物です。また、SHASE論文賞を計4回受賞するという稀有な学術的成果を収めており、110編を超える論文を通じてAIベースのスマートビルディングおよび室内空気質 (IAQ) 制御技術の発展に寄与してきました。その活動は理論に留まらず、低エネルギー住宅・オフィスの実証試験や学校における微小粒子状物質 (PM2.5) 低減プロジェクトなどを通じ、安全で快適な環境構築に実質的な貢献を果たしている。

韓国建築環境設備学会 (KIAEBS) 会長等の要職を歴任し、国際学会での基調講演を行うなど、世界的なリーダーシップを発揮してきました。未来志向の「居住者中心のゼロエネルギービル (ZEB)」実現に邁進し、建築設備分野の地位向上に多大なる貢献を果たしている。

よって、ここに井上宇市記念賞アジア国際賞を授与する。